

総合案内



# SEIREI MIKATAHARA



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷三方原病院



# キリスト教精神に 基づく隣人愛

当院は聖隷発祥の地にあります。聖隷創始者の長谷川保らが、聖隷の運命を変えた昭和天皇から与えられた御下賜金を基に、当院の前身である聖隷保養農園附属病院をこの地に開設したのが1942年です。当時根本的な治療法の無かった結核に罹患し、社会生活から隔離されざるを得なくなった方々を収容する施設だったようですが、既に80年余が経過したことになります。歴史を刻んだこの三方原エリアには、現在当院以外に聖隷学園の運営するこども園や小中高等学校から聖隷クリストファー大学・大学院といった教育施設群、聖隷保健事業部の聖隷予防検診センター、また高齢者公益事業部の介護付有料老人ホーム浜名湖エデンの園などが林立する大きな医療福祉教育ゾーンが形成されています。

さて当院は静岡県下最大規模の病床を運営しております。ドクターヘリを有する高度救命救急センターを始め、災害拠点病院にも指定されており、超急性期医療に力を注いできました。その一方で精神科、結核、ホスピス、リハビリテーション科など、地域から必要とされる医療も積極的に提供しており、また全国的にも数少ない基幹型の浜松市認知症疾患医療センターの認可を受け、今後益々本邦において重要課題となっていくと思われ、認知症高齢者人口の増加に対しても地域の中心となって対応してまいります。重症心身障害児(者)を対象とした聖隷おおぞら療育センター、介護老人保健施設三方原ベテルホームの事業も当院で行っており、医療から福祉にわたって広くカバーしております。創始者らが掲げたキリスト教精神に基づく『隣人愛』という理念を守り、それらは今も脈々と当院に息づいています。今後も選ばれ続ける病院を目指し、職員一同努力してまいります。



病院長  
山本 貴道

## 聖隷三方原福祉タウン



2019年11月開設  
地域障がい者総合リハビリテーションセンター



### [ シンボルマークの由来 ]

主イエスは最後の晩餐のとき、たらいに水を入れて弟子達の足を洗いました。当時、他人の足を洗う仕事は奴隷の役割でしたが、自らの行動をもって弟子達に最後の教えを示したのです。この逸話が聖なる神様の奴隷を意味する『聖隷』の語源となりました。聖隷のシンボルマークは、故アルバート・アットウェル博士(アメリカ人、1978~81年聖隷学園に奉職)が1980年に考案しました。外側の二重円はたらいを表し、内側の三つの円は、聖隷集団の使命である医療(赤)、教育(青)、福祉(緑)を象徴しています。

### [ 患者の権利と義務に関する宣言 ]

#### 「患者さんが参画する治療へ」

当院が掲げる「患者の権利と義務に関する宣言」は創立以来貫いてきた方針を明文化したものです。医療が医師任せだった時代から、人に尽くす隣人愛の精神を根底に置き、患者さんが主体となって参画できる医療を具体的に実行しています。



# 離れた地域にも迅速な治療を。 私たちは時間と戦い続けます。

「患者さんが受けられる医療に、地域格差をなくしたい」

遠く離れた重症の患者さんにも迅速に高度医療を提供するため、ドクターヘリを導入。

浜松市のみならず近隣の医療機関との連携も図っており、

地域一帯に欠かせない救急医療を担っています。

高度な診療機能を提供し、地域の救急医療を支えます

## ドクターヘリ

救急現場へ医師、看護師を派遣することで初期治療までの時間短縮することが最大の目的です。早期に治療開始することにより、救命率の向上や後遺障害の軽減等の効果、さらには、重症例も軽症化され医療費の抑制にも繋がります。また、ドクターヘリの機動力を活かして短時間で適切な医療機関へ搬送できます。これによりへき地における救急医療体制を強化し地域格差をなくすことができます。



## 高度救命救急センター

当院は浜松市北部一帯をカバーする救命救急センターとして専門スタッフを配置し、24時間365日患者さんの受け入れに備えています。施設は救急車搬送口や屋上ヘリポートと直結し、病院前救護から迅速な救命処置、さらに集中治療室の専門医への橋渡しまで、迅速・円滑に連携できる体制を整えています。

総合病院の特色を活かした緩和ケア

手厚い医療的ケアを必要とする

方たちの「生活の場」を提供

障がいがあっても住み慣れた地域で生活をおくる場を提供



## 聖隷ホスピス

ホスピスでは治療をするだけでなく精神的な苦痛、孤独、不安などを軽減し、患者さんやご家族とともに生命の意義を考えつつ、人間らしく尊厳を持って生きぬくことができるように援助します。スタッフとの信頼関係を基盤に、総合病院内にあるという特色を活かし最も適した治療を進めていきます。



## 聖隷おおぞら療育センター

小児期に発症した重症心身障害児(者)を支援する施設として、1973年に設立され、2006年に当院に移管されました。利用者一人ひとりの障がいを理解し、その方にとって良い生活が送れるようにサポートしています。暮らしやすさを考慮した明るく開放的な施設では、入所やショートステイの他、通所サービスも行っています。



## 地域障がい者総合リハビリテーションセンター

この施設は外来対応に限定されますが、医療の提供はもちろん、教育・啓発などの支援普及など様々な活動を担っていきます。そのための施設として障がい者スポーツや災害時支援を念頭に入れたアリーナなどを備えています。この中で障がい者の対応はもとより、障がい者を支える家族を含めた支援者へのサポートも図っていきます。



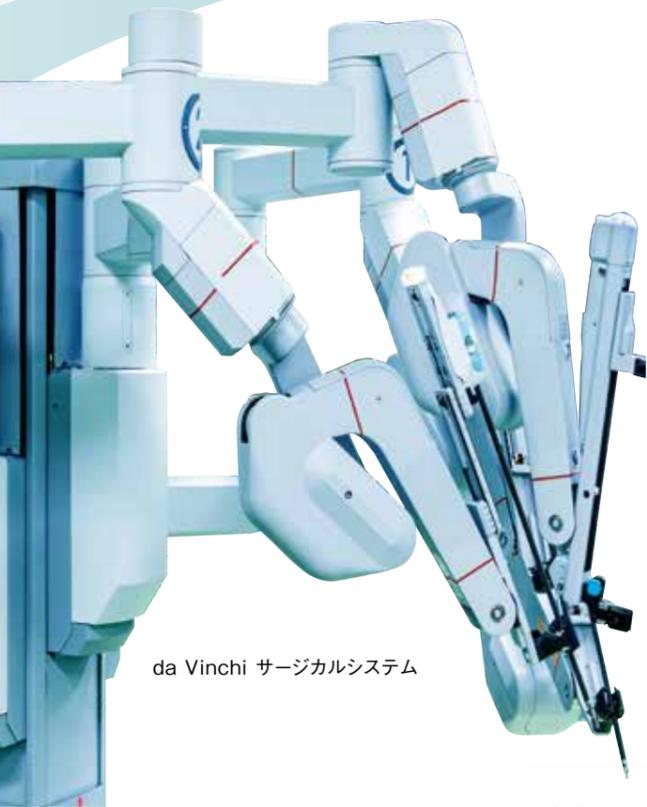
# 地域の患者さんに 最先端の高度医療を。

当院が常に先進的な医療を目指す目的は、  
高い専門技術を持った地域の基幹病院として、  
患者さんに充実した医療を提供すること。  
そして、医療界をリードする先進的な医療技術を研鑽し、  
全国の病院に広めていくことです。



## 信頼の最新医療を 支える設備

より信頼性の高い医療環境を目指し、すべての手術室に「手術室部門システム」を導入しています。これは、生体情報モニターをはじめとする医療機器からの情報データを取り込んだ上で、手術記録や看護記録を電子化するものです。院内の電子カルテとも連携しており、病棟からも患者さんの状況をリアルタイムに把握できます。



da Vinci サージカルシステム



ロボティックアーム  
Makoシステム



手術支援ロボット  
ROSA One ロボットシステム



### TOPICS 1

#### ハイブリッド手術室対応多軸透視・ 撮影システムARTIS Phenoの導入

ハイブリッド手術室とは、据置型の血管撮影装置を手術室内に設置することで、外科的な手術と血管内治療を複合的に進める手術室です。ハイブリッド手術室に導入した多軸透視・撮影システムARTIS Phenoは、次世代の血管造影装置と位置づけられ、経カテーテルの大動脈弁留置術(TAVI/TAVR)や大動脈瘤のステントグラフト留置術などのハイブリッド手術を行う上で最適化され、より低侵襲で正確な手術を実現します。



### TOPICS 2

#### 高精度放射線治療機 VersaHDの導入

1号機をElekta社の旗艦最新高精度放射線治療装置VersaHDに更新し、2号機ノバリスTxに続き放射線治療装置2台をともに高精度化しました。定位照射(SRT)、画像誘導放射線治療(IGRT)、呼吸同期の強度変調放射線治療(IMRT)など最適で低侵襲な治療が行えます。専門医とともに医学物理士、放射線治療品質管理士、専門技師、がん放射線療法看護認定看護師などスタッフも充実させ、より安全な体制の構築に努めてまいります。



当院は、人間味あふれる医師、  
プライマリ・ケアの基本的な診療を  
しっかり身に付けた医師の育成を目指します。

初期  
研修の  
理念

- ・研修を通じ、社会人としての常識、医療人としての心得を身につける
- ・診療科を問わず、幅広く諸疾患に初期対応できる知識・技量を身につける

地域医療研修を除き  
全ての研修が院内で  
完了できます。

スケジュール  
[標準的なモデル]

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年次	総合診療 内科①	選択内科 ①	選択内科②		選択外科	救急科		小児科		産婦人科	麻酔科	精神科
2年次	総合診療 内科②	選択内科 ③	救急科	地域医療	選択科①	選択科②	選択科③	選択科④	選択科⑤	選択科⑥	選択科⑦	選択科⑧

※一週間4週相当

内科研修

内科研修は総合診療内科を1年次2年次それぞれ必修(外来研修含む)、選択内科では循環器科、消化器内科、呼吸器内科を必須とし、しっかりとプライマリ・ケアが実践できます。

外科研修

選択外科は外科(消化器外科)、脳神経外科、呼吸器外科、整形外科、心臓血管外科より選択できます。  
※外科系志望者には、4週→8週相当の期間に変更可能です。

地域医療研修

- ・聖隷淡路病院(兵庫県淡路市)
- ・佐久間病院(浜松市天竜区)
- ・沖永良部病院(鹿児島県 沖永良部島)

POINT

30科以上の豊富な診療科の内、最大8科の選択科を選べる  
各科指導医のきめ細やかで実践的な医療を学ぶことができます。

研修サポート

専任の臨床研修センタースタッフ(兼務看護師含む)が2年間の研修生活を支援しています。さらにブラザーやコメディカルも研修が充実したものになるよう強力にバックアップしています。



□ ブラザー制度

先輩医師(指導医と別)が研修医の成長をサポートする制度です。研修医の日々の悩み(研修のアドバイス、将来の進路、選択科の選び方や専攻について等)に対して幅広く相談に乗ります。

□ 当直サポート

2年目と1年目がペアになり屋根瓦方式での研修を行います。内科直・外科直のほかにも専門科当直・宅直の体制も整っておりますので、安心して当直できる環境となっております。

□ レジデントデイ

月に一度、研修医を診療からフリーにして学習・研鑽に充てる取り組みを行っています。上級医によるレクチャー、研修医による症例プレゼンや院外から様々な講師を招き、講演を行っています。

□ エコー勉強会 月2回(4月~9月)

臨床検査技師によるレクチャーです。導入から始まり、主に腹部と心臓の研修を行います。



□ 感染症集中講義

初期研修医を対象とした感染症に関する講習会を開催しています。



初期研修から続く研修体制  
(専門医研修)

初期研修終了後も引き続き当院を基幹病院として専門医研修を受けることができます。

- 内科 ●外科 ●小児科 ●救急科 ●精神科
- 総合診療 ●泌尿器科 ●麻酔科 ●整形外科



救急では、1年目で600件、  
2年目で800件近い症例を  
経験可能

1次~3次までの救急患者の受け入れを行っている高度救命救急センターでは、ローテート及び当直(4~5回/月)で、1年目600件、2年目800件近い症例を経験可能です。また、小児の救急患者のファーストタッチ\*を研修医が行います。  
\*病院で最初に行う診察のこと



ドクターヘリを有しており、2年次に救急科を選択研修すると、ドクターヘリに同乗実習も可能です。設備の整ったER(救命救急室)とは異なる環境下での診療体験から得られるものは多くあります。

看護部理念の「聖隷創設者の設立の理念である『隣人愛』を継承し、助けを必要とする人へ手をさしのべることを第一とする」を実現する看護師の育成を目指します。

研修サポート

多様性のある領域で看護実践能力を高め、その場に応じた知識・技術を発揮できる看護師を育成します。

Generalist  
ジェネラリスト

看護実践能力を高めることで、その場に応じた知識・技術・態度をどの職場でも発揮出来るような看護師を目指します。日々の看護実践の中でのOJT、看護部研修の中で看護実践能力を習得し、看護専門職としてキャリアを重ねていきます

クリニカルラダー

Clinical ladder level 1

必要に応じ助言を得て実践する

Clinical ladder level 2

標準的な実践を自立して行う

Clinical ladder level 3

個別の状況に応じた判断と実践を行う

Clinical ladder level 4

幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる

Clinical ladder level 5

より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する

看護師特定行為研修 ～専門性を高めたい看護師に充実サポート～

高度医療及び地域医療の場面において、医療安全を配慮し、高度な臨床実践能力を発揮し、自己研鑽を継続しながらチーム医療のキーパーソンとして機能できる看護師を育成することを目的とした研修。

※2019年8月22日付けで厚生労働省より「特定行為研修指定研修機関」に指定されました。

Specialist  
スペシャリスト

現在、約30名の認定看護師、専門看護師が院内外で活躍しています。

専門看護師

CNS Certified Nurse Specialist



がん看護専門看護師  
急性・重症患者看護専門看護師  
家族支援専門看護師

水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められ、日本看護協会の専門看護師認定試験に合格した看護師です。特定の専門分野でより困難で複雑な課題を抱える患者・家族・地域に対し、高度な看護を提供し、その専門性を活かして看護の質の向上に貢献しています

老人看護専門看護師  
慢性疾患看護専門看護師  
小児看護専門看護師

認定看護師

CN Certified Nurse



高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護が実践できると認められ、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格した看護師です。患者・家族によりよい看護を提供できるように、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら実践しています。更に、看護実践を通して、他の看護職に対し指導、相談などの活動を行っています

がん薬物療法看護認定看護師  
乳がん看護認定看護師  
緩和ケア認定看護師  
手術看護認定看護師  
感染管理認定看護師  
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師  
呼吸器疾患看護認定看護師

がん放射線療法看護認定看護師  
がん性疼痛看護認定看護師  
クリティカルケア認定看護師  
皮膚・排泄ケア看護認定看護師  
摂食・嚥下障害看護認定看護師  
認知症看護認定看護師  
精神科認定看護師

Manager  
マネジャー

病院や施設の看護部門を円滑に動かし、看護師の組織運営、人材育成、業務管理などを行い、質の高い看護サービスを提供するために取り組んでいます

認定看護管理者

CNA Certified Nurse Administrator

日本看護協会の認定看護管理者認定審査に合格し、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有すると認められた者です。看護部の課題達成、看護の質の向上に取り組んでいます

認定看護管理者教育課程 [ファーストレベル・セカンドレベル]

多様なヘルスニーズを持つ個人・家族および地域に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指します。自立的研鑽を求める教育・学究の場となることを変動する環境に適応し、発展に向けて挑戦し続けられる人材を育成します。

※日本看護協会から認定を受け、日本看護協会認定看護管理者委員会の提示する「カリキュラム基準」に基づいて実施しています。

# 病院概要

## 概要

2026年1月時点

開設者	社会福祉法人 聖隷福祉事業団
病院名	総合病院 聖隷三方原病院
開院日	1942年(昭和17年)12月24日
理事長	青木 善治
病院長	山本 貴道
施設種別	医療保護施設(第2種社会福祉事業)
敷地面積	69,245.81㎡ うち聖隷おおぞら療育センター20,461.89㎡ 地域障がい者総合リハビリテーションセンター13,133.22㎡
延床面積	79,074.96㎡ うち聖隷おおぞら療育センター10,649.63㎡ 地域障がい者総合リハビリテーションセンター3,003.54㎡
病床数	928床(一般810床・精神104床・結核14床)
住所	〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453

## 標榜科目

内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、感染症・リウマチ科、腎臓内科、肝臓内科、救急科、形成外科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、血液内科、緩和ケア内科、消化器外科、歯科(計34科)

## 救急医療

三次救急指定病院、精神科救急医療基幹病院、ドクターヘリ導入促進事業実施

## 地域に求められる主な病院機能

### 浜松市認知症疾患医療センター(基幹型)

高齢化の進展に伴う認知症患者の急速な増加を背景に、「地域において認知症に対し進行予防から地域生活の維持まで必要となる医療を提供できる機能体制の構築」を目的として設置されました。認知症疾患における鑑別診断や専門医療相談、医療機関等の紹介、地域保健医療・介護関係者への研修や連携などを行う専門医療機関です。

### 精神科医療

静岡県西部地区における精神科常時対応型病院として、地域の精神科輪番病院と協力体制を組み、迅速かつ適正な医療の提供を行っています。また精神疾患を有しながら身体合併症を併発した方に対して医療を提供できる身体合併症対応施設となっておりますので、精神疾患と身体疾患のいずれも入院治療が必要と判断された方について、可能な限り受け入れを行っております。

### 災害拠点病院

災害時に重傷者を受け入れるために都道府県が指定した病院です。当院では大規模災害発生時、地域の中で中心となり救命活動を行い、同時に被災された方々を設備の整った被災地以外の病院へ搬送する拠点となります。また広域災害が他の地域で起こったときには、DMATという専門チームを中心に、要請に適した職員を被災地に派遣します。

### 地域がん診療連携拠点病院

質の高いがん医療を受けることができるように、各地域におけるがん診療の連携・支援を推進するため、厚生労働大臣より指定された病院のことで、当院は2005年1月に厚生労働大臣より指定を受けています。集学的治療および標準的治療の提供をはじめ、がんサポートセンターの運営やがんゲノム医療連携の体制の充実を計っています。

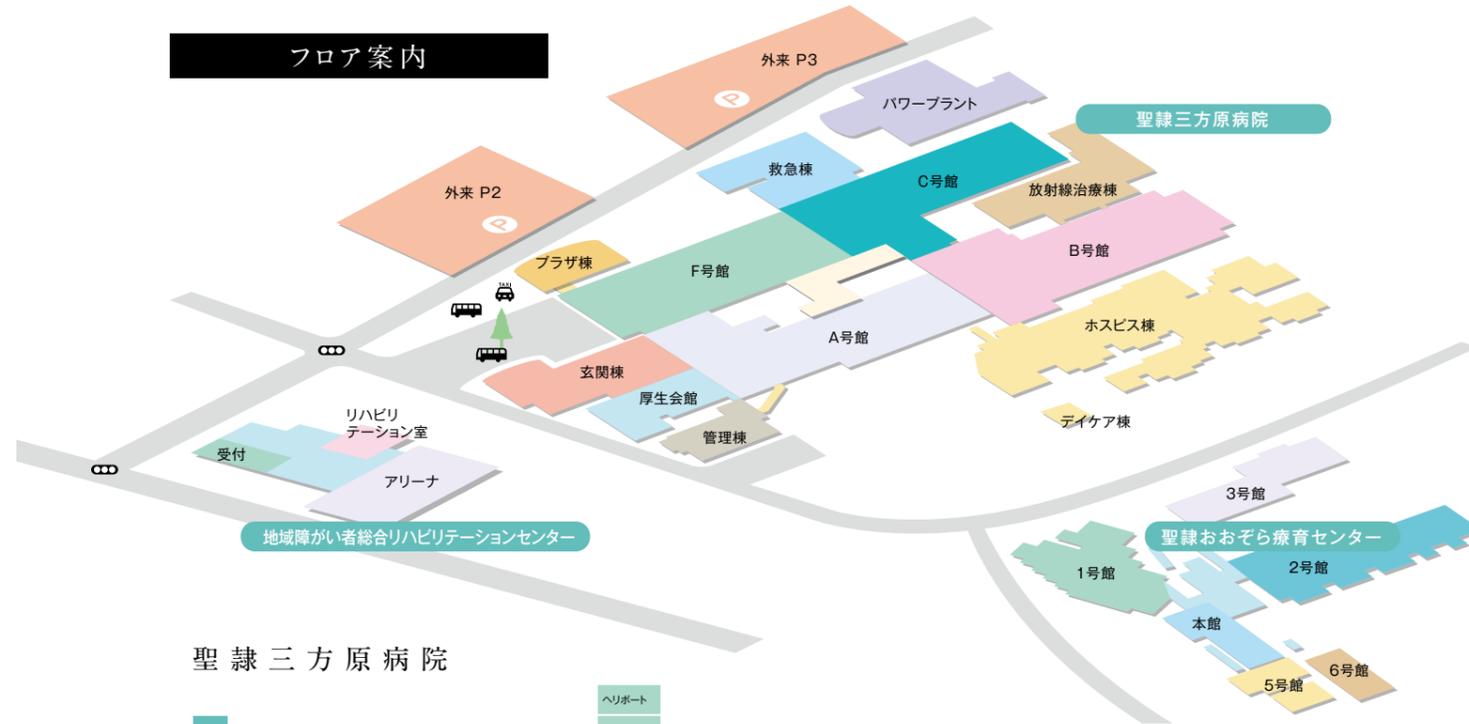
### 地域医療支援病院

地域の中核病院として2004年6月に地域医療支援病院の認可を受けました。地域の医師会・診療所と連携を図り、積極的に紹介患者さんを受入れ、かかりつけ医と共に地域全体で医療を提供する体制を構築し充実した救急医療を提供します。

### 院内助産所 たんぽぽ

助産師が中心となって順調な妊娠経過の方の「お産」を担当していく院内助産所「たんぽぽ」を2009年3月に運用開始しました。これは医療設備・体制の整った院内での「安全なお産」と、産後まで経験豊富な助産師がご夫婦のペースプラン(注)に沿ってお世話させていただきアットホームで快適な「あたたかいお産」の両立が実現可能なシステムです。

## フロア案内



### 聖隷三方原病院

7階										ヘリポート 外来化学療法室(腫瘍センター) 透析室	
6階				C6病棟	F6病棟(腫瘍センター)						
5階	医局	A5病棟	B5病棟	C5病棟	F5病棟					研修宿泊室	
4階	医局 副院長室 院長補佐室 読影室	A4病棟	B4病棟	C4病棟	F4病棟					医局 研修医室 臨床研修センター	
3階	院長室 副院長室 図書室	A3病棟	B3病棟	救命救急病棟	F3病棟	大ホール 臨床心理室					
2階	院内助産所 会議室	看護部管理室	リハビリ 訓練室	B2病棟	C2病棟	外来診察室	外来診察室	会議室	レストラン	会議室	
1階	医事課 ボランティア室	総合案内 受付 料金計算 支払窓口 自動支払機 薬局 患者サポートセンター 売店	外来診察室 中央処置室(注射室) 医学情報 プラザ	画像診断部	外来診察室 検査中央室(採血室)	外来診察室 生理検査室	高度救急センター	ホスピス	放射線治療室	カフェ 書店	事務長室 総務課 経理課 総合企画室 診療支援室
B1階		栄養課	手術部	臨床検査部	資材課					手術部	
	厚生会館	玄関棟	A号館	B号館	C号館	F号館	救急棟	ホスピス棟	放射線治療棟	プラザ棟	管理棟

### 聖隷おおぞら療育センター

3階	活動室 会議室	多目的 ホール	うらら こたま はるか						
2階	あおば ほのか	会議室 食堂		地域交流室 ボランティア室 宿泊室				日常生活訓練室 多目的室 相談室	
1階	ほくと	厨房 配膳室	だいち あすか すばる	受付・事務室 相談支援事業所 面談室 診察室 理学療法室 作業療法室	通所活動室 指導訓練室 遊戯室 歯科診療室			日常生活訓練室 浴室 事務室	
	3号館	エレベーター棟	2号館	1号館	本館	5号館 (ひかりの子)	6号館 (あさひ)		

# 認定施設・学会認定

## 認定施設

- 保険医療機関
- 労災保険指定医療機関
- 指定自立支援医療機関(更生医療)
- 指定自立支援医療機関(育成医療)
- 指定自立支援医療機関(精神通院医療)
- 精神保健福祉法指定病院
- 応急入院指定病院
- 生活保護法指定医療機関
- 結核指定医療機関
- 指定養育医療機関
- 戦傷病者特別援護法指定医療機関
- 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
- 第二種感染症指定医療機関(結核病床を有する)
- 公害医療機関
- 地域医療支援病院

## 学会認定

- 日本内科学会認定医教育病院
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本アレルギー学会認定教育施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設(基幹)
- 日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医研修施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本高血圧学会専門医認定施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本肝臓学会認定施設の関連施設
- 日本血液学会認定血液研修施設
- 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設
- 日本リウマチ学会教育施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本透析医学会認定施設
- 日本感染症学会認定研修施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本脳神経外科専門医研修プログラム連携施設
- 日本脳神経外傷学会認定研修施設
- 日本脳卒中学会研修教育病院
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本ペインクリニック学会指定研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 日本神経学会専門医制度准教育施設

- 地域災害医療センター(災害拠点病院)
- 高度救命救急センター
- 基幹型臨床研修病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- エイズ治療拠点病院
- 地域肝疾患診療連携拠点病院
- 特定疾患治療研究事業委託医療機関
- DPC 対象病院(特定病院群)
- 指定小児慢性特定疾病医療機関
- 地域周産期母子医療センター
- 産科医療補償制度加入機関
- 静岡県精神科救急医療基幹病院
- 身体合併症対応施設(静岡県精神科救急身体合併症対応事業)
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 臓器移植推進協力病院

- 特定不妊治療費助成事業指定病院
- 国土交通省短期入院協力病院
- 救急指定病院
- 高次脳機能障害支援普及事業支援拠点機関
- 静岡県難病医療協力病院
- 浜松市認知症疾患医療センター(基幹型)
- 災害派遣医療チーム静岡DMAT 指定病院
- 災害派遣精神医療チーム静岡DPAT 指定病院
- 難病法に基づく指定医療機関
- 特定行為研修指定研修機関
- 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
- 新興感染症指定医療機関(第一種第二種)
- 災害拠点精神科病院
- 日本パラリンピック委員会推薦メディカルチェック協力医療機関

- 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部・腹部ステントグラフト実施施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設
- 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会認定実施施設
- 日本乳房オンコプラステックサージャリー学会 インプラント・エキスパンダー実施施設
- 日本精神科病院協会セルフレビュー認定病院
- 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設
- 日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設(基幹施設)
- 日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修病院
- 日本緩和医療薬学会地域緩和ケアネットワーク研修施設
- 日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設(基幹施設)
- 日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修施設(基幹施設)
- 日本栄養療法推進協議会認定 NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- 日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム(NST) 専門療法士認定取得教育施設
- 日本臨床栄養代謝学会 NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- 日本病態栄養学会・日本栄養士会がん病態栄養専門管理栄養士研修実地修練施設
- 日本臨床衛生検査技師会・日本臨床検査標準協議会品質保証施設
- 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- 日本救急撮影技師認定機構指定実施研修施設
- NCD 施設会員

# 病院沿革

## 聖隷の起源

昭和初期のことでした。

当時、不治の病と忌み嫌われていた結核に苦しむ青年を引き取り、看病した長谷川保をはじめとする数名の若者たち。それがすべての始まりでした。

結核患者さんのお世話をすることから始まり、

その後に診療所から病院へと充実した医療機関となりました。

聖隷歴史資料館  
長谷川保の聖書(原本)



- 1930年(昭和5年) 5月/広沢町の愛耕園にある住宅を教会青年のキャンパで改造し、腰椎カリエス患者を収容 貧しい結核患者の収容保護事業を開始
- 1937年(昭和12年) 4月/ベテルホーム移転開始 聖隷保養農園と改名
- 1939年(昭和14年) 12月/天皇陛下より特別御下賜金を賜わる これにより迫害終わる
- 1942年(昭和17年) 8月/財団法人聖隷保養農園認可

## 1984年 11月 マザーテレサ来訪 ホスピス慰問



- 1987年(昭和62年) 3月/第二期増改築工事、2号館(現B号館)落成、開設(790床)
- 1991年(平成3年) 4月/老人保健施設「三方原ベテルホーム」併設
- 1992年(平成4年) 9月/病院玄関に「患者の権利に関する宣言」を掲げる

## 1942年 8月 財団法人聖隷保養農園認可



- 1942年(昭和17年) 12月/聖隷三方原病院の前身、聖隷保養農園附属病院開設
- 1967年(昭和42年) 5月/聖隷病院本館が落成(318床)
- 1973年(昭和48年) 3月/聖隷病院を「聖隷三方原病院」と改称
- 1980年(昭和55年) 5月/地上5階、地下1階、延面積1万㎡の新病棟落成、開設 現A号館(534床)
- 1981年(昭和56年) 4月/原義雄博士を迎え、日本初のホスピス、一般病棟の中で開始
- 1984年(昭和59年) 4月/日本救急医療ヘリコプター株式会社発足(中日本航空機などと提携)

## 1994年 1月 天皇・皇后両陛下が御視察



- 1996年(平成8年) 4月/C号館落成、開設(770床)
- 1999年(平成11年) 6月/患者図書室開設
- 2001年(平成13年) 9月/救命救急センター指定(38床)
- 10月/ドクターヘリ導入促進事業正式運航を開始
- 2002年(平成14年) 3月/(財)日本医療機能評価機構の認定
- 2003年(平成15年) 12月/精神科救急入院料の施設基準承認
- 2004年(平成16年) 6月/地域医療支援病院承認
- 2005年(平成17年) 11月/F号館建築に伴う病棟再編成(1病棟43床吸収)

- 2006年(平成18年) 7月/DPC(包括評価)対象病院となる
- 10月/おおぞら療育センターが社会福祉法人小羊学園より聖隷福祉事業団に運営が移管される 施設名称は「聖隷おおぞら療育センター」となる
- 2008年(平成20年) 3月/F号館落成、開設
- 6月/ドクターヘリヘリポート移転(F号館屋上)
- 12月/プラザ棟落成、開設
- 2009年(平成21年) 3月/院内助産所「たんぽぽ」開設
- 2011年(平成23年) 3月/東日本大震災被災地へDMATチーム派遣
- 2012年(平成24年) 1月/聖隷おおぞら療育センター3号館落成、開設(934床)
- 4月/手術支援ロボットダヴィンチS導入
- 5月/聖隷三方原病院ボランティアの会 緑綬褒章受章
- 7月/浜松市認知症疾患医療センターの指定「基幹型」は県内初の指定
- 2014年(平成26年) 11月/第8回ワークライフバランス大賞受賞
- 2015年(平成27年) 3月/高度救命救急センター指定
- 2018年(平成30年) 12月/聖隷おおぞら療育センターが御下賜金を賜る
- 2019年(令和1年) 11月/地域障がい者総合リハビリテーションセンター落成、開設
- 2020年(令和2年) 3月/手術支援ロボットダヴィンチXi導入
- 2021年(令和3年) 3月/ドクターヘリ格納庫竣工
- 4月/F6重症病棟(6床) 病床数変更認可 ※2024年4月コロナ終息により認可取り下げ
- 2022年(令和4年) 12月/病院開設80周年
- 2024年(令和6年) 4月/ロボット支援手術Makoシステム導入
- 2025年(令和7年) 4月/病床数を934床から928床(一般810・精神104・結核14)に再編ファミリーマート聖隷三方原病院店開店
- 5月/DMAT車両導入
- 9月/手術支援ロボットROSA Oneロボットシステム導入
- 10月/脳卒中センター開設
- 2026年(令和8年) 1月/電子カルテシステム更新

# SEIREI MIKATAHARA



## ／ Access ／

- JR浜松駅よりバスで約50分  
駅北口バスターミナルの15番のりば  
40 聖隷三方原病院 気賀 三ヶ日 方面  
聖隷三方原病院バス停下車
- JR浜松駅よりタクシーで約40分
- 東名高速道路、浜松西インターチェンジより車で約15分

## 愛と緑の総合病院



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷三方原病院

〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453

TEL.053-436-1251 <代表> FAX.053-438-2971

聖隷三方原 検索

<https://www.seirei.or.jp/mikatahara/>

